

NTT-ATの5つのビジョン。



Ver.7.2.0 WinActorノート リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActorノートとは



WinActor ノートは、WinActor 付属のテキスト編集ツールです。

WinActor ノートは、メール本文のような「非定型のテキスト」をシステム連携しやすい「定型テキスト」に加工するためのツールです。(ver6.1で追加)

Ver.7.2.0に同梱されるWinActorノートは、以下の特徴があります。

- UI、操作性の改善
- 多言語対応
- ワークフォルダ表示
- 「ワークフォルダ設定」ライブラリを追加
- マクロ編集におけるループ機能を追加
- SSH接続におけるセキュリティ強化
- ファイルダンプ設定に「全ダンプ」を追加
- シェルツール設定に「タイムアウト値」を追加
- 「文字列の読み込み」ライブラリを追加
- 「マクロ読み込み実行」ライブラリ動作の改善
- 使用できる文字コードの変更
- 「変数に取り込み」ライブラリにおける改行コードの出力結果を修正
- SSHツールにおけるファイル送信(SCP)送信先パスの解釈を変更
- 置換における正規表現に関する動作の修正
- 各ツールにおける削除動作の修正
- 動作モード変更時の前面化をしないよう変更
- 各機能のエラーメッセージを変更

新機能の表記について



このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版でご利用できます。



この表記がある場合、FL版でご利用できます。



この表記がある場合、フル機能版でご利用できます。



この表記がある場合、実行版でご利用できます。



この表記がある場合、管理実行版でご利用できます。

UI、操作性の改善

NTT-ATの5つのビジョン。



Ver.7.2ではウインドウを1つに集約することで操作性を改善しました。



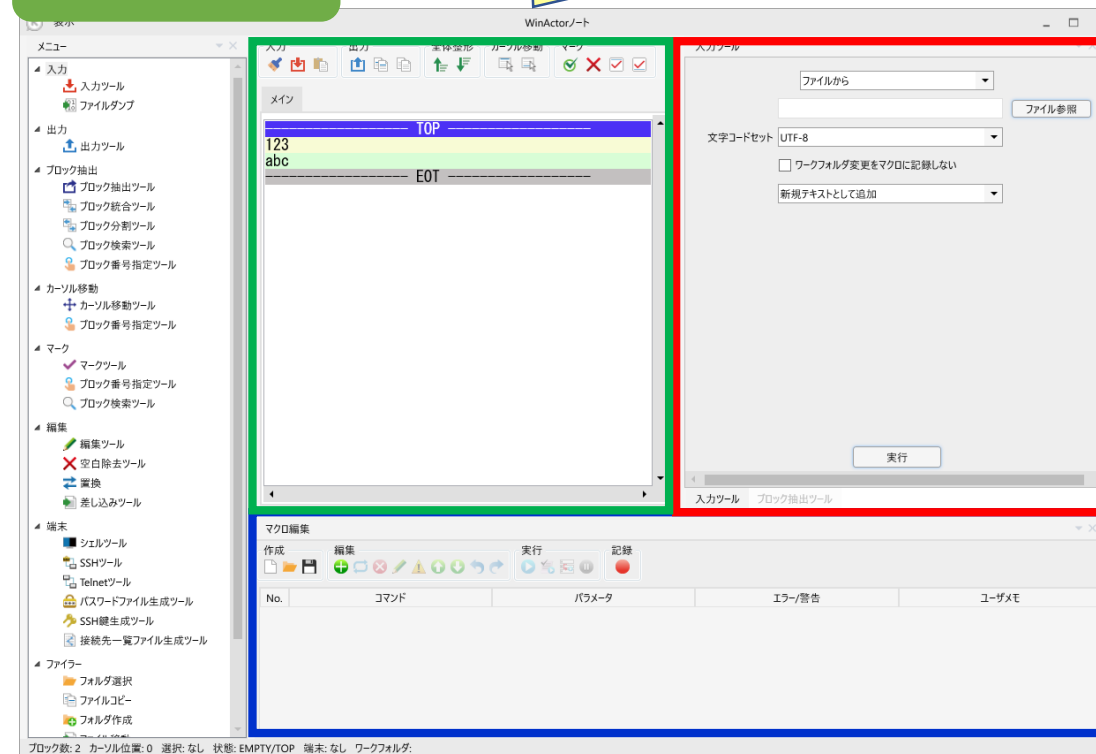
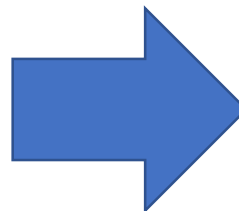
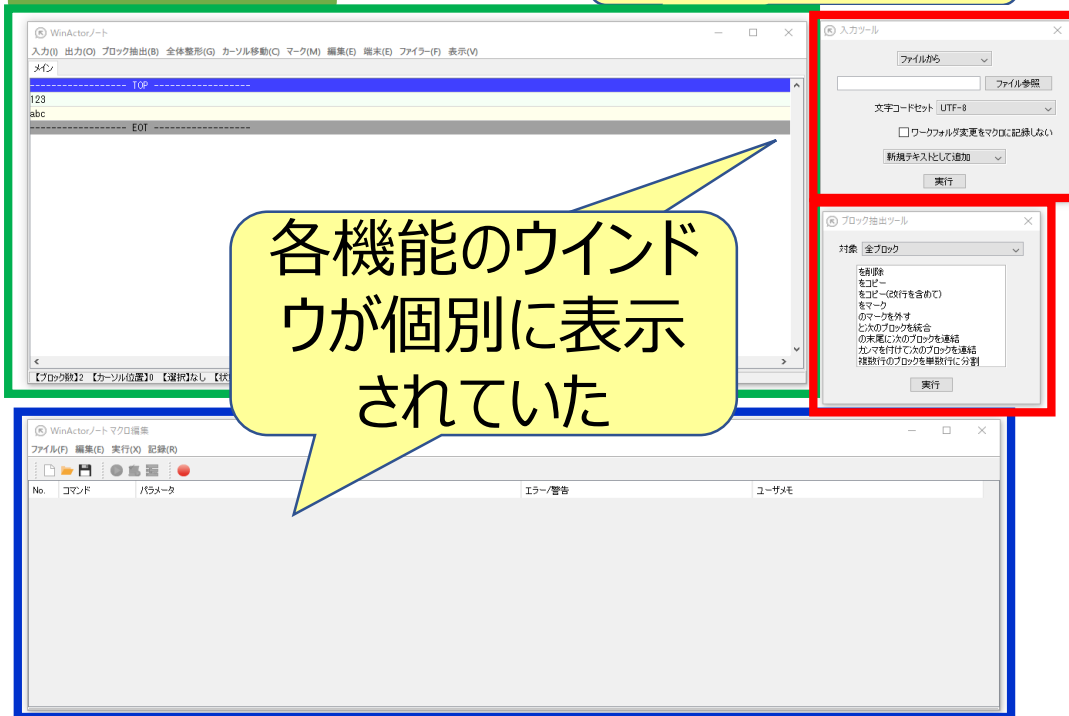
Ver.7.1.1

メインウインドウ

各機能のウインドウが個別に表示されていた

Ver.7.2.0

1つのウインドウに集約

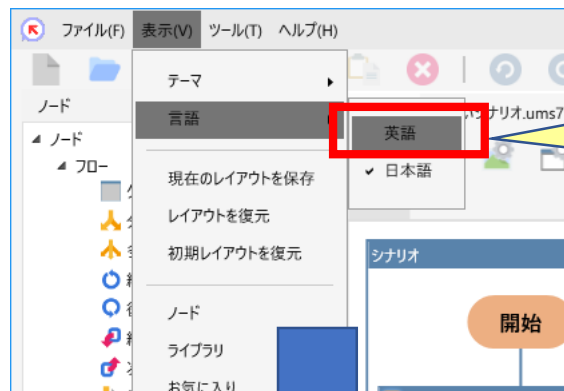




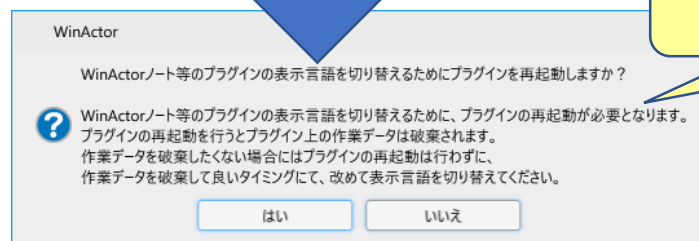
Ver.7.2から英語表記に対応いたしました。



WinActorの言語にて英語を選択するとWinActorノートも英語表記となります。



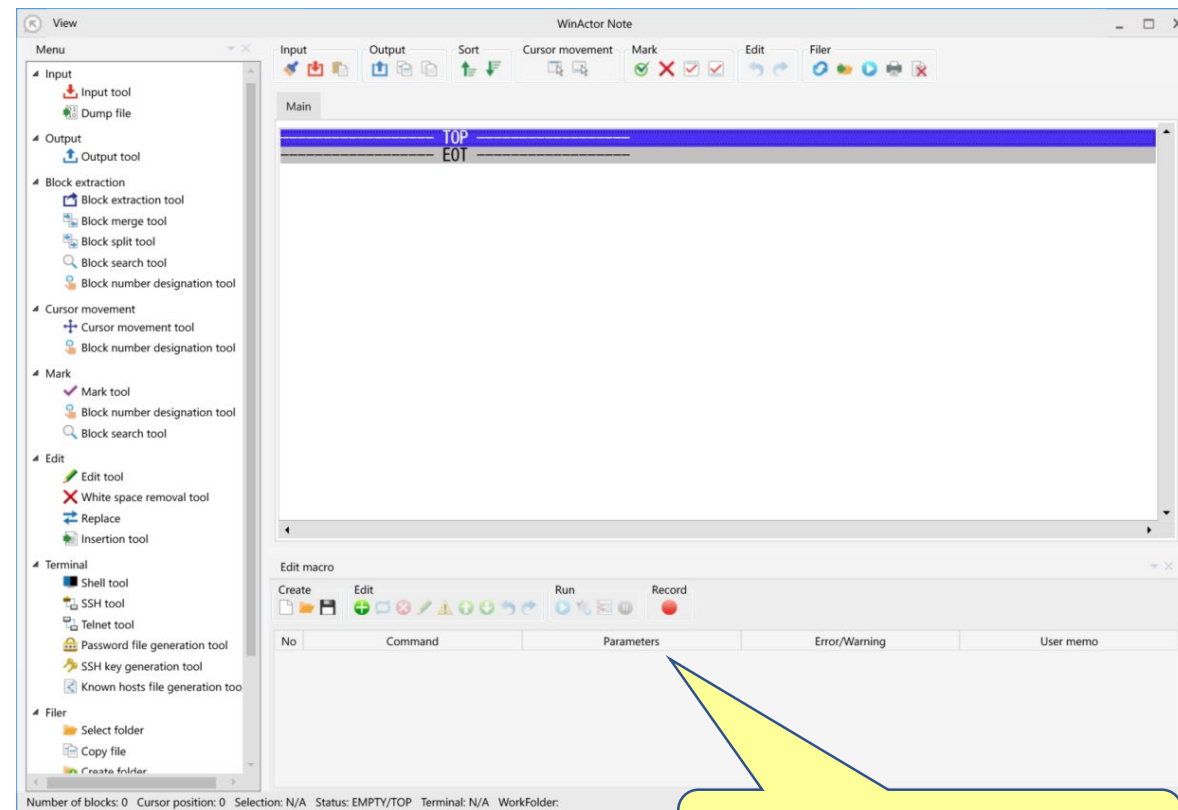
英語を選択



プラグインを再起動

※ダイアログに従いプラグインを再起動するまで言語切り替えはWinActorノートに反映されません。

※プラグインを再起動すると、WinActorノートを含むプラグイン上で作業中のデータは失われますので、あらかじめ保存してください。



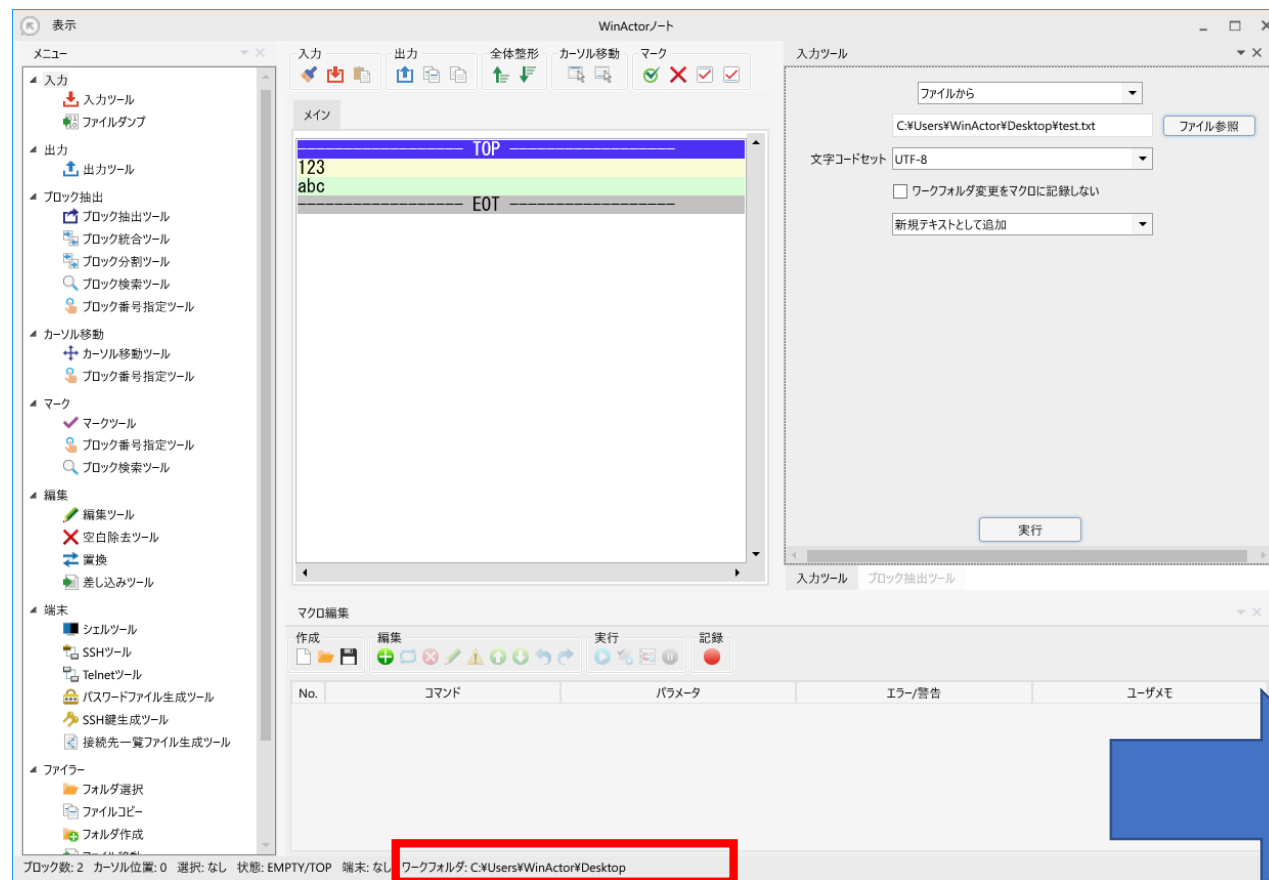
英語表記

ワークフォルダ表示

NTT-ATの5つのビジョン。



ファイル操作などの起点となる「ワークフォルダ」のフォルダパスを
WinActorノートのフッターで確認することが可能となりました。



ワークフォルダのパスを
フッターで確認することが可能

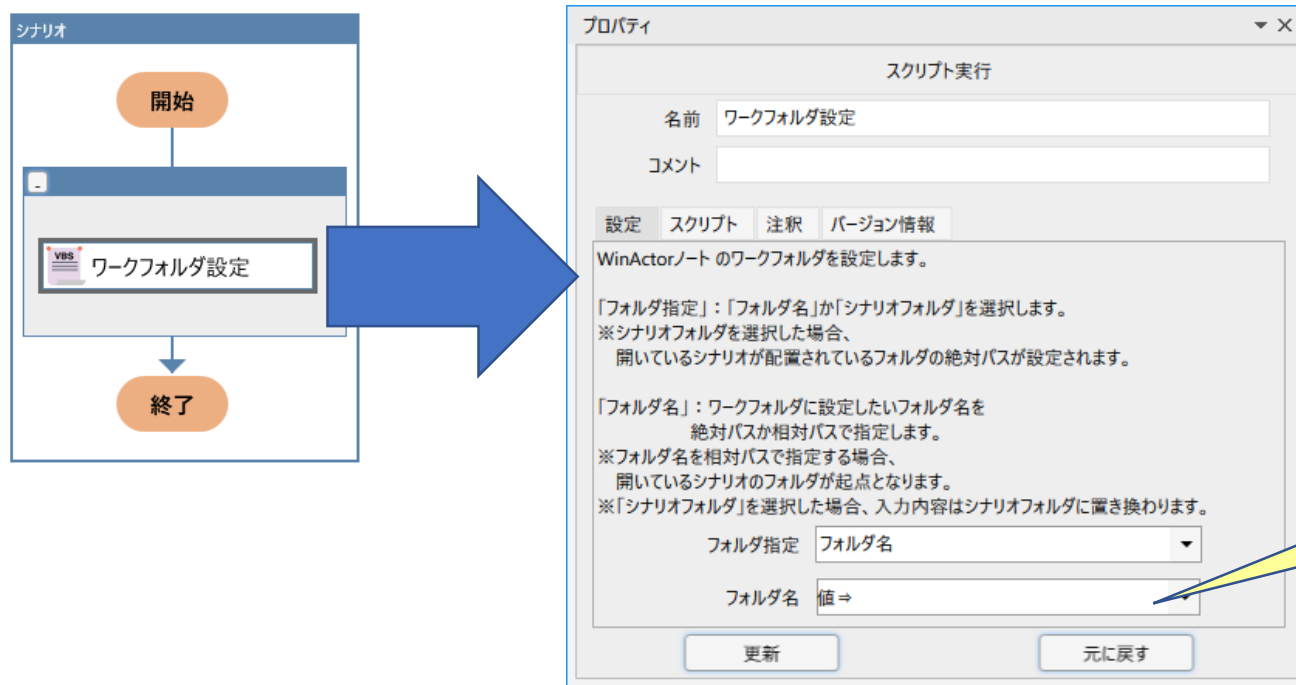
なし ワークフォルダ: C:\Users\WinActor\Desktop

「ワークフォルダ設定」 ライブラリを追加

NTT-ATの5つのビジョン。



ファイル操作などの起点となる「ワークフォルダ」のフォルダパスを
WinActorのシナリオ上から指定することが可能となりました。

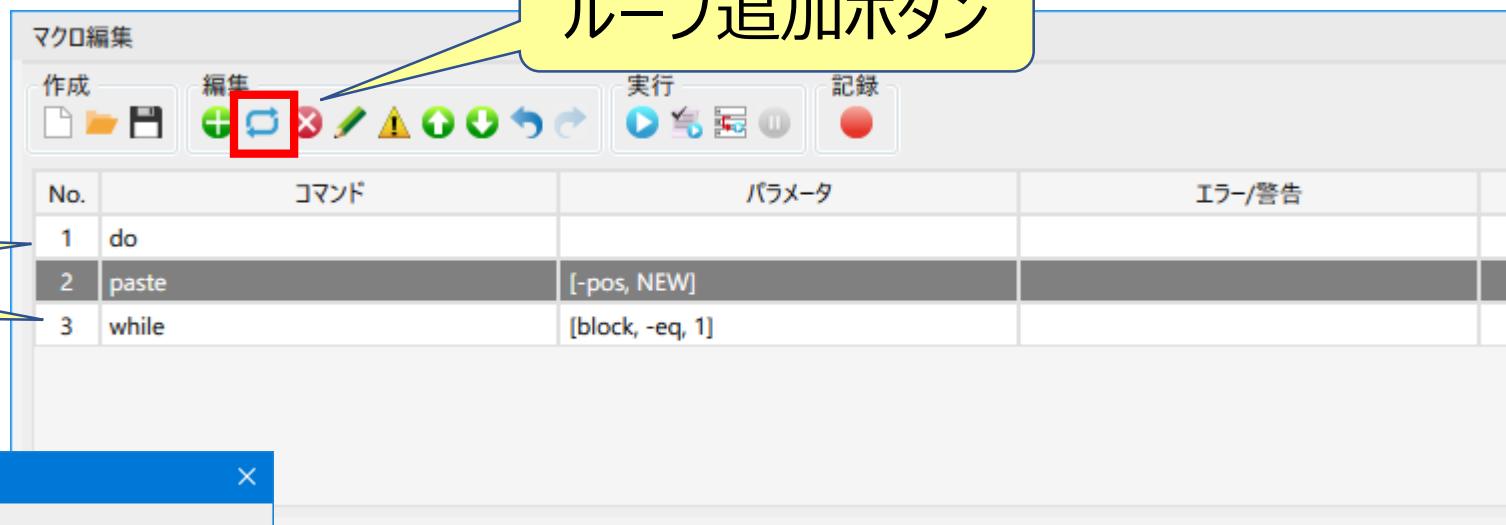


ワークフォルダのパスを
シナリオ上で指定することが可能

マクロ編集におけるループ機能を追加

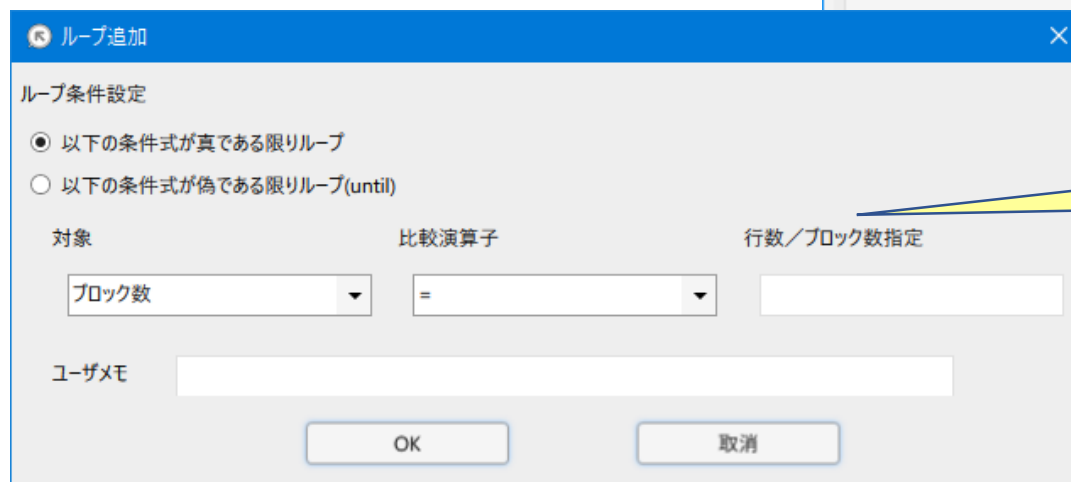


Ver.7.2では新たにマクロのループ機能を追加いたしました。
これにより繰り返し動作を簡単に実現できます。



ループが使用可能

ループ追加ボタン

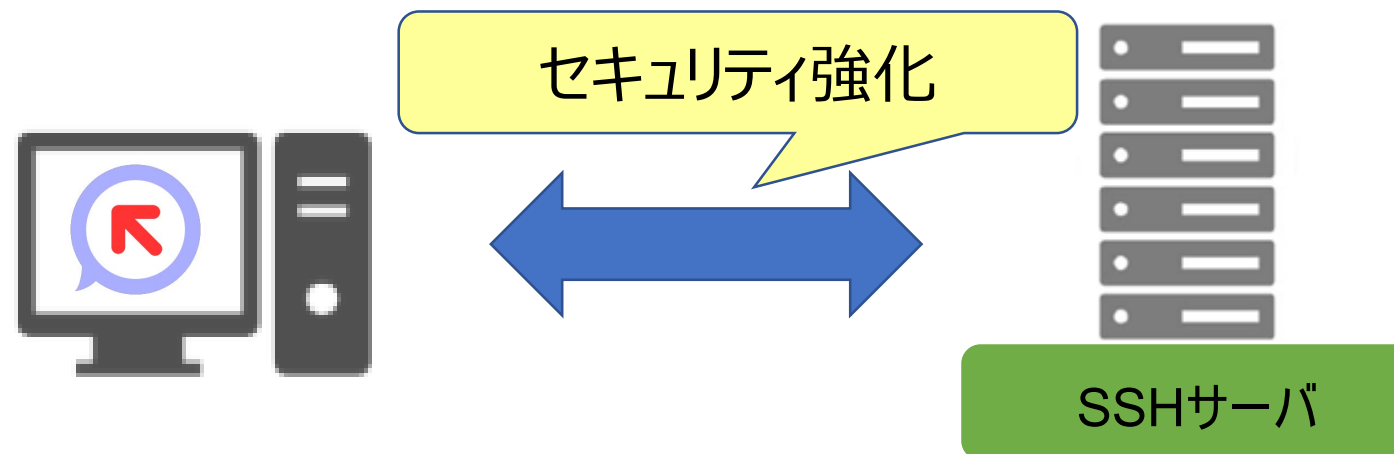


条件を指定可能

SSH接続におけるセキュリティ強化



SSHホスト公開鍵取得時のアルゴリズムを変更し、セキュリティを強化しました。



旧アルゴリズム: ecdsa-sha2-nistp256

新アルゴリズム: ssh-ed25519

※ Ver.7.1以前のWinActorノートにて接続先一覧ファイルをご利用の場合、
接続先一覧ファイル生成が再度必要となります。

ファイルダンプ設定に「全ダンプ」を追加

NTT-ATの5つのビジョン。



ファイルダンプの設定から「全ダンプ」が選択可能となりました。
これまではダンプサイズの設定は手入力が必要でしたが、
Ver.7.2ではワンクリックで最大値の設定※が可能となります。

※1,048,576[Bytes]

ファイルダンプ

ファイルダンプ

ファイルサイズ

開始位置 - ダンプサイズ 1048576 ☒ 全ダンプ(上限あり)

☐ アドレスを表示しない

ダンプサイズ最大値を設定

シェルツール設定に「タイムアウト値」を追加



シェルツールの設定から「タイムアウト値」が設定可能となりました。



これまでは、シェルツールコマンド実行時のタイムアウト値は60秒固定となっておりますが、SSHツール、Telnetツールと同様に、Ver.7.2ではタイムアウト値を任意の秒数で設定可能となります。

シェルツール

文字コードセット MS932 (Shift JIS)

PowerShellを開く

コマンドプロンプトを開く

セッションを閉じる

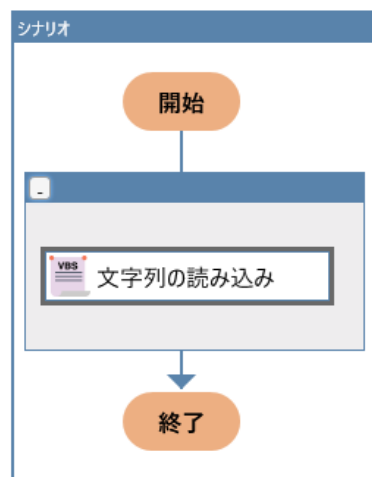
コマンド

タイムアウト値[秒] 60



「文字列の読み込み」ライブラリを追加

これまでは、変数からWinActorノートへ文字列を読み込みたい場合、一度ファイルやクリップボードを経由してWinActorノートへの読み込みを行う必要がありました。Ver.7.2では直接値を指定したり、変数から文字列を読み込めるようになりました。



直接入力した値や変数から読み込み可能

「マクロ読み込み実行」ライブラリ動作の改善

NTT-ATの5つのビジョン。



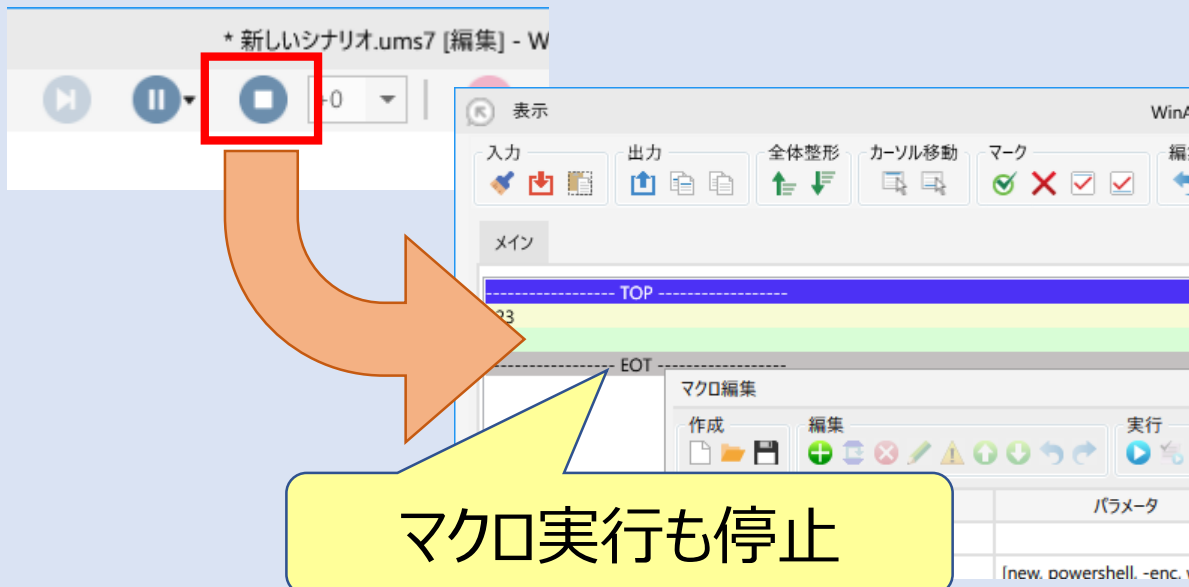
「マクロ読み込み実行」ライブラリを利用したシナリオ動作について
Ver.7.2から以下の改善を行いました。



シナリオ停止に追従

これまでは、シナリオ実行の停止操作が行われた後もマクロ実行処理が継続していました。

Ver.7.2ではシナリオ停止処理に追従するように改善しました。

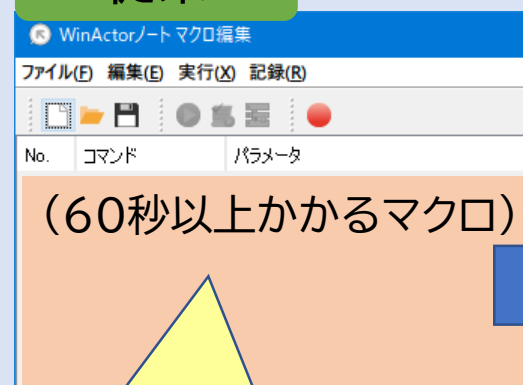


60秒以上かかるマクロ実行に対応

これまでは、「マクロ読み込み実行」を利用してマクロ実行を行った場合、実行に60秒以上かかるとエラーになりました。

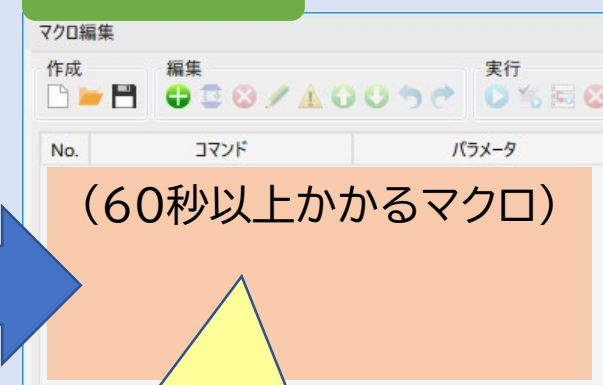
Ver.7.2では正常に処理できるように改善しました。

従来



シナリオ実行エラー

Ver.7.2



正常実行可能

使用できる文字コードの変更



既存シナリオで関連機能をご利用いただいている場合、シナリオの修正が必要な場合があります



Ver.7.2では使用できる文字コードを以下の通り変更いたします。

Ver.7.2で使用できる文字コード

以下の文字コードが選択できます。

- UTF-8
- UTF-16
- UTF-16BE
- UTF-16LE
- UTF-32
- UTF-32BE
- UTF-32LE
- UTF-7
- MS932 (ShiftJIS)
- ISO-8859-1 (Latin1)
- CESU-8
- EUC-JP
- EUC-KR
- EUC-CN
- Cp1258

Ver.7.2で非対応となった文字コード

以下の文字コードがVer.7.2で非対応となりました。
Ver.6.3以前で作成したシナリオを実行するなどして非対応の文字コードを読み込んだときは、下記の動作となります。

文字コード名	動作
EUC-TW	UTF-8として動作

「変数に取り込み」ライブラリにおける改行コードの出力結果を修正

NTT-ATの5つのビジョン。



既存シナリオで関連機能をご利用いただいている場合、シナリオの修正が必要な場合があります



これまでは「変数に取り込み」ライブラリを用いた際、指定と異なる改行コードで取り込みが行われることがありましたが、Ver.7.2では正しく取り込みできるよう修正いたしました。

①改行	②改行コード	Ver.6.3での動作	Ver.7.2での動作
含める	CRLF	全行CRLF	全行CRLF
含める	LF	<u>全行CRLF</u>	全行LF
含める	CR	全行CR	全行CR
含めない	CRLF	最終行以外CRLF	最終行以外CRLF
含めない	LF	<u>最終行以外CRLF</u>	最終行以外LF
含めない	CR	最終行以外CR	最終行以外CR

SSHツールにおけるファイル送信(SCP)送信先パスの解釈を変更

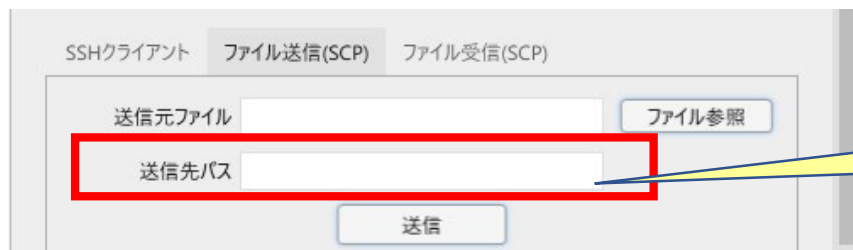
NTT-ATの5つのビジョン。



既存シナリオで関連機能をご利用いただいている場合、シナリオの修正が必要な場合があります



SSHツールのファイル送信(SCP)において、
これまでは「¥」(バックスラッシュ)を後に続く文字の種類によってエスケープ文字、
もしくは、¥文字そのままのいずれかで処理しておりましたが、
Ver.7.2では常に¥文字そのまま処理します。

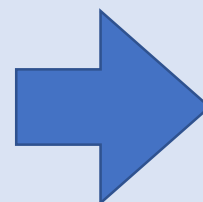


入力された¥はそのままの文字として解釈

例： 送信元ファイルが ./SendData.txt 送信先パスが ¥¥data のとき

従来
動作

/home/(ユーザ名)/ 配下に
ファイル名 ¥data としてファイル転送する



V7.2
動作

/home/(ユーザ名)/ 配下に
ファイル名 ¥¥data としてファイル転送する

置換における正規表現に関する動作の修正

NTT-ATの5つのビジョン。



既存シナリオで関連機能をご利用いただいている場合、シナリオの修正が必要な場合があります



正規表現を使用した置き換えにおいて、
「¥」文字をエスケープ文字と誤判定してしまう不具合を修正しました。

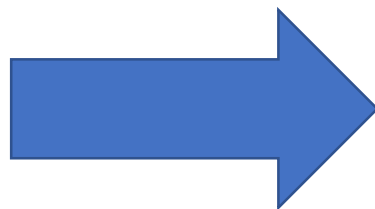
設定例

置換前文字列：
c:¥aaaa¥test

設定内容：
対象：全ブロック
正規表現：チェック有り
置換前：.:¥¥.*¥¥test
置換後：c:¥¥bbbb¥¥test

従来

置換後文字列：
c:¥bbbb est



Ver.7.2

置換後文字列：
c:¥bbbb¥test

各ツールにおける削除動作の修正



特定の条件において以下の操作を実行した場合、
WinActorノートがフリーズすることがある不具合を修正しました。



- 「マークツール」で“マークされていないブロックを削除”を実行
- 「ブロック番号指定ツール」で“削除”を実行
- 「ブロック検索ツール」で“該当ブロックを削除”を実行
- 「ブロック検索ツール」で“当ブロックを残して他のブロックを削除”を実行

動作モード変更時の前面化をしないよう変更



「動作モード変更」ライブラリにて、動作モードを
「非表示」から「編集」または「表示」に変更すると、
これまではWinActorノートが前面化されました。
Ver.7.2では動作モード変更時も前面化されないよう修正しました。



各機能のエラーメッセージを変更



以下の通りエラーメッセージを変更いたしました。



■ファイルダンプ

- ・ファイル未入力の場合

→「ファイル名を指定してください。」のエラーダイアログを出力

- ・開始位置誤り、ダンプサイズ誤り(0 or 文字)の場合

→「ファイルダンプできません。」もしくは「開始位置・ダンプサイズの指定に誤りがあります。」のエラーダイアログを出力

■クリップボードから貼り付け

- ・ファイルをコピー後に実施した時

→「パラメータ指定に誤りがあります。」のエラーダイアログを出力

■ファイルから読み込み

- ・存在しないフォルダおよびファイル、または権限のないファイルを指定した時

→「ファイルの読み込みに失敗しました。」のエラーダイアログを出力

■出力ツール

- ・存在しないフォルダ、または権限のないファイルを指定した時

→「ファイルへの保存に失敗しました。」のエラーダイアログを出力

■ファイルに保存

- ・存在しないフォルダ、または権限のないファイルを指定した時

→「ファイルへの保存に失敗しました。」のエラーダイアログを出力

■フォルダ移動

- ・ファイルを指定した時

→「ファイル一覧が取得できません。」のエラーダイアログを出力

■実行

- ・存在しないファイルパスを指定した場合

→「実行できません。」のエラーダイアログを出力

- ・カーソルが権限のないフォルダ

→「ファイル一覧が取得できません。」のエラーダイアログを出力

■SSHツール

- ・ホスト名誤り、ポート番号誤り、ユーザ名誤り、鍵認証ファイル誤り時

→「SSHクライアントのオープンに失敗しました。(エラー詳細)」のエラーダイアログを出力

- ・SSH接続でタイムアウト発生時

→「タイムアウトにより接続できませんでした。」のエラーダイアログを出力

■Telnetツール

- ・ポート番号が誤っていた場合

→「Telnetクライアントのオープンに失敗しました。(エラー詳細)」のエラーダイアログを出力

■ファイル削除

- ・操作権限のないファイルを指定した場合

→「ファイル削除できません。」のエラーダイアログを出力

■差し込みツール

- ・JSONのパーズに失敗した場合

→「パラメータの指定に誤りがあります。」のエラーダイアログを出力



WinActor[®] Ver.7.2.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2021 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-G-WAN-1225

未 来 を 拓 く チ カ ラ と 技 術。

